

部活動に係る活動方針

1 本校の活動方針について

「運動部活動に係る活動方針」（以下「方針」）は、スポーツ庁のガイドライン、鹿児島県の「運動部活動のあり方に関する方針」、奄美市が策定する「部活動の在り方に関する方針」に基づき策定し、毎年度見直していくものとする。

2 部活動の指導の在り方等について

- (1) 勝利至上主義に陥ることなく、活動の楽しさを味わったり、自尊感情を培ったりする活動を心がける。
- (2) 日常の教育活動と同様に、生徒の人権に十分配慮し、体罰等に該当する行為による指導が行われないようにする。また、保護者及び関係者への対応も丁寧に行う。

3 適切な休養日の設定について

- (1) 学期中は、週当たり2日以上休養日を設ける。
 - ① 2日以上内訳は、平日に少なくとも1日、土曜日又は日曜日に1日以上とする。
 - ② 平日の1日は、職員の定時退校日に指定する水曜日を優先する。
- (2) 長期休業中は、学期中に準じた扱いとする。
 - ① 運動部活動以外にも多様な活動を行うことができるように、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。
- (3) やむを得ず大会等の参加のために土曜日又は日曜日の休養日が設定できなかった場合は、平日に振り替えて休養日を確保する。

4 1日の活動時間について

- (1) 平日は、2時間程度とする。
- (2) 土・日、休業日は、3時間程度とする。

5 部活動計画・活動実績の提出・公表・報告等について

- (1) 顧問は、様式により月の活動計画と活動実績を毎月管理職に提出する。
- (2) 顧問は、月の活動計画や活動実績について、学校のホームページ等で公表する。
- (3) 管理職は、各部活動の計画・実績を集約して、必要に応じて市教委に報告する。

6 その他

- (1) 「部活動指導員」制度の活用については、県及び市の条件整備ができた段階から検討する。
- (2) 部活動指導手当（教員特殊業務手当）については、県の運用方針に沿って取り扱う。
- (3) 外部コーチを活用する場合は、年度当初に本方針について説明する場を設ける。
- (4) 大会等参加回数については、原則1か月当たり1回程度とする。（年間10回を上限）
ただし、中体連主催の大会、地区及び県、九州の代表として上位大会に参加する場合は、この10回に含まない。
- (5) 平日の夜に、部活動の保護者会等を開催する場合は、定時退校日以外の日で開催する。
- (6) 地域行事等の参加依頼があった場合には、部全体や該当者が協力をする態勢を整える。
- (7) 本方針は、年度初めに保護者等にも広報する。